Ａ－２　研究の全体構想図

学　校　研　究　全　体　構　想　図

活用力の向上

～活用力向上を支える言語活動の充実～

＜社会科＞
観察や調査・見学など体験を通して
◎資料から必要な情報を取り出し、自分の考えをまとめ、説明する力
を高める

＜理科＞
観察・実験結果の考察や説明を通して
◎学習と身近な生活やこれまでの経験をつなげて考える力
◎実験や観察したことを科学的に考え、判断し、まとめる力
を高める

＜算数科＞
算数的活動を通して
◎自分の考えを筋道立てて表現する力
を高める

＜生活科＞
伝えあい、交流する活動を通して
◎身近な人々と進んで交流する力
◎言葉や絵、動作などで楽しく表現し伝えあう力
を高める

＜国語科＞
記録、要約、説明、論述の学習活動を通して
◎分かったことや自分の考えを論理的に書く力
◎書いた文章を推敲する力
を高める

＜音楽科＞
鑑賞を通して
◎楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表す力
を高める

＜体育科＞
チームでの話し合い活動を通して
◎自分のチームの特徴に応じた作戦を立てる力
を高める

＜図画工作科＞
作品の紹介や鑑賞を通して
◎感じたことや思ったこと、その理由を説明する力
を高める

＜家庭科＞
製作や調理の実習レポート作成を通して
◎言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりする力
を高める

＜外国語活動＞
・外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図る活動の充実
・言語や文化の体験的な理解を深める活動の充実

＜道徳＞
・自分の考えをもとに、書いたり話し合ったりする表現の機会の充実

＜特別活動＞
・体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表しあったりするなどの活動の充実
・言語や文化の体験的な理解

＜総合的な学習の時間＞
・他者と協同して問題を解決しようとする学習活動の充実
・言語により分析し、まとめたり表現したりする学習活動の充実

こんな徳田っ子に！

学んだことを生活や学習の中で活かしながら，すすんで問題を解決しようとする子

活用力のある子＝つなげて、考え、説明できる子

知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力を身につけた子

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得した子

学びのかまえを身につけた子
（基本的な生活習慣＋学習習慣＋学ぶ意欲）

柱①　「つなげて」「考え」「説明」できる！
＜知識・技能を活用する思考力・判断力・表現力の育成＞

つなげて，考え，説明できる子

	低学年	中学年	高学年
A つなげて考える力	既存の知識や経験や生活経験・体験等をもとに考える		
		他の友だちの考えと比べて考える	
			難かな問題となるものをもとに考える
B 説明する力	既存のつなぎ言葉を使って		
	・筋道立てて＝後の順序を意識して「まず、次に、だから」		
		・言い換えたり比べたり＝「例えば、もしーなら、つまり」	
	後の自分の考えを見せながら＝視覚的に		

・問題解決的な学習と場の設定　・課題設定の仕方　・ふりかえりの工夫

活用力向上の手立て

柱②　「わかった」「できた」の積み重ね！
＜基礎基本の確実な習得＞

朝スキルタイム
・毎朝15分の時間確保
・担任，級外によるTT支援
・国語2回（漢字、ことばの力）
・算数2回（計算、考える力）
・達人テスト等評価の工夫
・前学年のドリル活用
・個別支援の充実

徳田っ子タイム
・水曜５限の活用
・補充学習時間の確保

さんご樹教室
・夏休みの学力補充教室（前半３日＋後半３日）
・個別支援の充実
・主体的学習の支援

＜学力向上プラン＞との関連…全学年・教科において、「考えて書く力」の向上を図る

＜基本的な生活習慣の確立＞＋＜基本的な学習習慣の確立＞
・「すくすく大作戦」学習・生活習慣チェック表
・学習のかまえの共通理解（掲示の工夫）・家庭学習の手引き（自学メニューのすすめ）

柱③　「すくすく徳田っ子20」
＜生活習慣・学習習慣の確立＞